

倉敷チボリ公園の今後について

あらしき竜二後援会新聞

11月26日

あらしき竜二後援会新聞

編集・発行
あらしき竜二後援会事務所
秋岡正之
倉敷市大内 313-4
086-422-7511

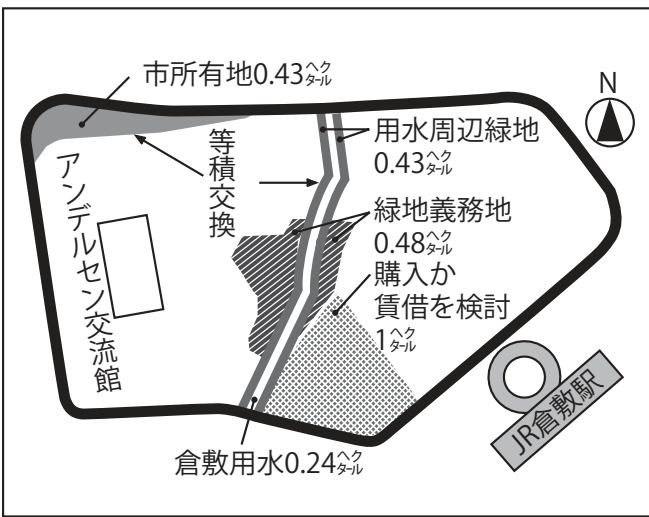
増刊号

今後の予定は…

ご承知の通り、平成20年12月31日、これまで県が主導し、進めてきた倉敷チボリ公園は閉園となり、公園を運営してきたチボリ・ジャパン社は解散となります。

伊東市長は、「花と緑の部分をできるだけ多く残したい。」と発言しています。

クラブウは、倉敷市の意向を十分尊重した上、新たな開発をしようと思われませんが、具体的な中身は今のところ不明です。



倉敷市が検討するチボリ公園跡地、市民公園構想

1 ポストチボリについて
20年11月19日に市長は、「ポスト・チボリに関する市の考え方について」を公表し、閉園後の跡地利用の計画案を示した。市としては、地主であるクラブウと協議のうち、県にも協力を求めながら、市民の憩いの場となり、将来にわたって倉敷市の顔に相応しく、市の新たな個性や魅力を生み出していきけるような空間を創出していきたいと思っています。

・計画案では、一定の緑のスペースを確保するため、公園の中央を流れる倉敷用水の両側を拡幅して、全幅22mの緑道を整備する。
(拡幅分の土地は、公園北西に隣接する市有地と交換して確保する)

・加えて、市の条例に基づく土地所有者や開発事業者の緑化義務として、中央の樹木が最も多く残っている約0.48ヘクタール部分をクラブウから寄付が無償貸与してもらう。
・さらに、倉敷駅に近い部分1ヘクタール以上を購入または借り受けしたいとしている。
市は、この計画案を11月市議会にはかった後、クラブウと交渉に入ります。
(交渉協議により変更の可能性があります。
私としては、市民(地元)の皆様方の建設的なご意見を拝聴し五十年、百年と続くべき公園(施設)等行政にたいし具体的な意見を述べてまいりたいと思っています。

2 周辺の道路管理(照明など)
・公園が閉園になっても周辺の道路にある照明が消えることなく、今までどおり点灯する。(確認済み)
3 平成21年1月以降、「倉敷チボリ公園」はどつなるのか
・チボリ・ジャパン(株)は、平成21年1月から、清算会社に移行し、数名の社員で会社の清算事務・管理などを行う予定。
・公園は閉鎖されるが、通常の警備はチボリ・ジャパン社で行われる。
・早ければ、1月中旬から、売却が決まった遊具などの撤去工事が始まります。

近年、私たちの生活を取り巻く状況は大きく変化を遂げています。特に、少子化や高齢化社会が大変なスピードで進んでおり、これまで以上に新しい社会の枠組みづくりを作ることが重要な課題となっています。

その中心を担うのは、地域社会で暮している私たち一人ひとりであり、自分たちの生活基盤を安全・安心で心豊かなものに作り上げていかなければなりません。
そして今、この大切な節目の時期に、私たちを束ねていく力強いリーダーとして、『あらしき竜二くん』が立ち上がってくれました。
来年の干支は「丑」ですが、



あらしき竜二

倉敷に情熱 チャレンジ

平成20年11月26日
後援会会長 秋岡 正之

最後まで温かいご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

見通しの悪い危険な交差点



大内公園を利用する、車・自転車・歩行者が優先道路を通行する自動車と接触事故が多発していました。現在は、カーブミラーを設置することで安全に通行できるようにになりました。



平田公園を利用する子供等が路地から飛び出し車と接触事故の危険があります。道路・電柱への注意表示及びカーブミラーを設置し運転手への注意喚起を行いました。

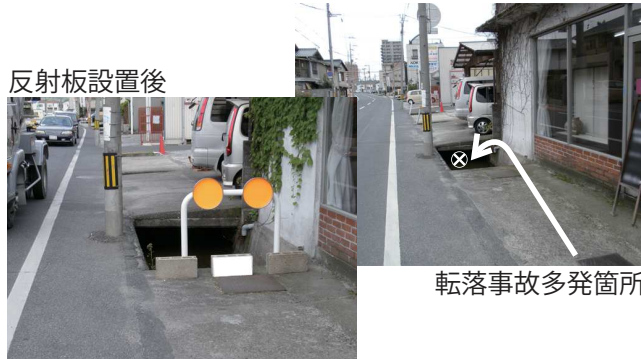
飛び出し事故多発

平田公園を利用する子供等が路地から飛び出し車と接触事故の危険があります。道路・電柱への注意表示及びカーブミラーを設置し運転手への注意喚起を行いました。

万寿地域情報

万寿学区に潜む危険箇所

万寿学区の事故多発地点や危険な箇所等の改善箇所をご報告いたします。
危険なガタガタの側溝
大内地区内に問題になっていたガタガタな側溝も現在では左記の写真のように安全に通行できるように改善しました。



歩行者・自転車が落ちる日ノ出町1丁目地区内の水路付近では夕方、塾へ通う子供や帰宅中の歩行者及び自転車が橋げたが有るものと思い通行し水路に落下する事故が多発していました。写真のように反射板を設置し夕方通行する歩行者・自転車への注意喚起をしたところ水路への落下事故は激減しました。

車が脱輪する水路

川入地内用水路落下防止用視線誘導標の設置

この道は道幅も狭く、特に、夜間は写真の橋げたの間に、写真右側の道路から曲がってきた車が、川に落ちる事故が多発していました。
写真のように、橋げたの間に視線誘導標を設置したところ、運転手への注意喚起となり、車が川に落ちるなどの事故が激減しました。



狭い公道事故多発地点

大内保育園西側駐車場整備

写真のように、大内保育園西側付近は橋の上しか駐車できず、公道も狭いため、バックする時に走行車との接触事故等が多発していました。また、子供が車の陰から道路に飛び出す場合もあり、交通事故になり兼ねない状況が以前から懸念されており、至急の整備が必要とされてきました。



これからも地域のために働きます



駐車できるようになり、接触事故等が改善されました。また、公道までも距離があるため、子供の飛び出し事故の危険性もなくなり、保育園への子供たちのお迎えも安心してできるようになりました。

万寿学区版

万寿学区 周辺の道路整備と混雑の解消の取り組み

◎朝夕の混雑は(三田五軒家海岸通二号)、(平田川八王子)目に余るものがある。その大きな原因は、浜の茶屋1丁目交差点(六道路が交差)の、早期改良工事が必要と考え、現在、岡山県と共に共同で早期着工に向け検討いたしていると伺っております。今後、解消に向け、全力で取り組みます。

◎金光船穂線、(水江西阿知町地内より船穂橋までの1.8km)早期開通が混雑の緩和に繋がると思っていますので、早期完成に向け、努力します。(平成22年度完成予定)

◎市道の酒津浜町線通称『人絹線』(川入大内地内)、朝夕の通勤ラッシュと土、日の夕方は(株)イオン等の買い物客による混雑が大きいと思われる。

対策として、(株)イオンまた市交通安全課に対し、混雑の解消を要請し、検討をお願いしております。



浜ノ茶屋1丁目交差点の渋滞

◎市道西坂平田線(平田地内)、全日の混雑特に朝夕は激しく、山陽本線の踏み切り幅の拡張と改修を目下要請し、検討中ですので、今後何らかの回答がなされると思いますが、今後とも、全力で頑張ります。

町開かずの踏み切りの対策

◎本市の中心市街地である倉敷駅周辺地区は、鉄道によって南北の交通や土地利用が分断されており、一体的な発展を阻害している。このため、倉敷駅付近の鉄道を高架化し、鉄道によって分断されている市街地の一体的な整備を行う

ことにより、土地利用の促進と都市機能の集積を図り、48万都市の「顔」づくりを行うものである。

■事業主体：岡山県

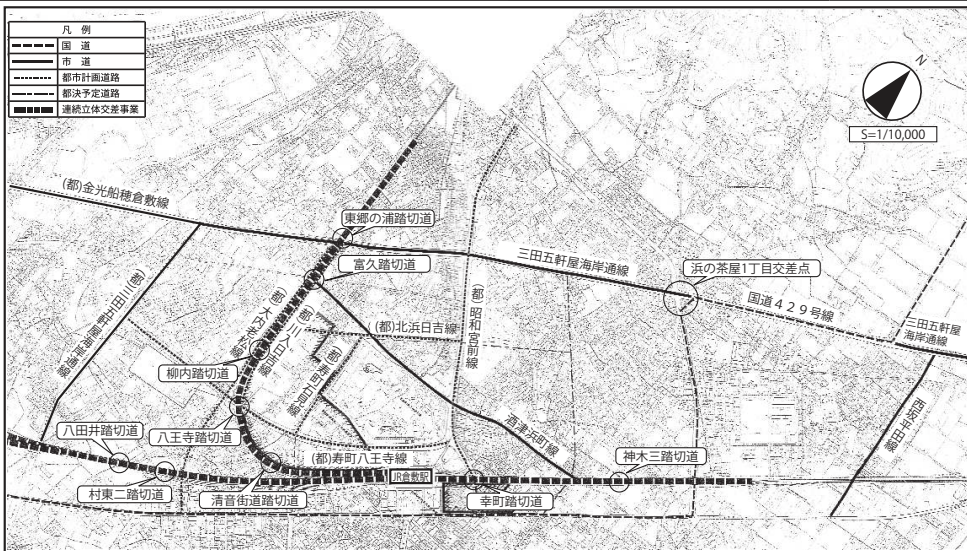
■事業計画区間
・JR山陽本線約3.2km(大島〜四十瀬) 高架橋区間約1.6km

・JR伯備線約2.2km(阿知1丁目〜酒津) 高架橋区間約1.1km

・水島臨海鉄道約1.7km(阿知1丁目〜安江) 高架橋区間約0.9km

■概算事業費
：約600億円

■主な交通道路
：都市計画道路6路線(既決定道路4路線
・新規計画道路2路線)



万寿コミュニティ協議会の充実

◎万寿学区の皆さんが一同に集える盆踊り大会、大運動会、三世代餅つき大会などの充実に努力すると共に、万寿小学校を中心に児童の登下校の安全確保、あいさつ運動、地域の皆様方、特に高齢者の方々との意思疎通をどのようにしていけばいいのか、地域の皆様方と今後模索をしながら、明るく住みよい学区にしたいため全力で頑張りたいと思っております。

幼稚園・保育園の駐車場の確保

◎万寿幼稚園、大内保育園は共に駐車場用地確保を現在要請いたしております。尚、大内保育園については農林水産部、土木部の協力を得て、河川の車避けなどの対策を協議いたしました。結論として、来年度予算で計上し、できるだけ早い時期に完成になる予定であります。また、園舎の拡張、改修などを合わせて要請をいたしております。



仮駐車場

児童クラブの充実

◎放課後児童クラブ(万寿学区亀の子)来年少者数が約100名ぐらいで、2クラブに分割する予定です。現在、学校側と場所・位置などを鋭意検討していると伺っております。尚、今後は小学校高学年まで随時拡大していく予定です。今後とも推移を見守りながらクラブの充実に努力をして参りたいと思っております。